

## ＼もしものシミュレーション／ 知っておこう! 119番通報 火災編

**指令管制員**: 119番消防です。  
火事ですか？救急ですか？

**通報者**: 火事です。

**指令管制員**: 住所を教えてください。

**通報者**: ○○区○○町○丁目○番○号です。

**指令管制員**: 近くに目印になる建物はありますか？

**通報者**: ○○小学校の前です。

**指令管制員**: 何階建ての何階が燃えていますか？

**通報者**: ○階建ての○階が燃えています。

**指令管制員**: 何が燃えていますか？

**通報者**: ○○が燃えています

**指令管制員**: あなたのお名前と電話番号は？

**通報者**: 名前は○○○○で、電話番号は○○○-××××-▲▲▲▲です。

### リアルタイムで状況を伝える 「Live119」

映像を送信して現場の状況を伝えることができるシステムです。通報時に指令管制員から動画撮影を依頼する所以あるので、協力をお願いします。

QRコード  
紹介動画

#### Live119の操作手順



指令管制員に  
聞きました

## 「一秒でも早く現場へ」

火事や救急など、助けを求める人の声を最初に受けるのが私たちの仕事です。通報者が慌てていることが多いので、「大丈夫ですよ、落ち着いてください」とゆっくり話し、安心してもらえるように心掛けています。

携帯電話からの通報は、通報者が現場の住所が分からることも多いです。そんなときは「近くに何が見えますか？」と聞いて、相手の言葉をつなぎ合わせて現場を特定します。通報から出動指令まではおよそ60秒。正確な場所を素早く把握することに集中しています。

声で助けられる命がある。そう感じる度に、この仕事をしていて良かったと思います。とはいえ、火災や事故が起きないことが一番です。日頃から火の元に気を付けて、安心して暮らせるまちと一緒に守っていきましょう。

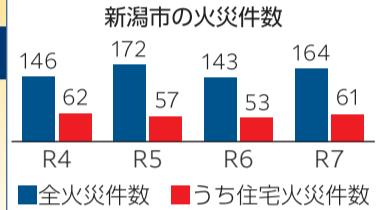


## 今すぐできる！火災の予防

日頃のちょっとした心掛けが火災を防ぎます。今すぐできる火災予防のポイントを確認しましょう。 消防局予防課 (☎025-288-3230)

### 令和7年の火災件数は「164件」

新潟市の火災件数は、前年より21件増加し、164件でした。冬は暖房器具を使用する機会が増えるため、火災が発生しやすくなります。特にストーブの取り扱いに注意しましょう。



### 火災から身を守る10のポイント

#### 4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない
- ②ストーブの周りに燃えやすい物を置かない
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない
- ④コンセントのほこりを清掃し、使わないプラグを抜く

#### 6つの対策

- ①ストーブやこんろは安全装置の付いたものを使う
- ②住宅用火災警報器は定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ③寝具や衣類、カーテンなどは防炎品を使う
- ④家庭用消火器などを常備し、使い方を確認しておく
- ⑤避難経路や避難方法などを確認しておく
- ⑥地域の防災訓練などに参加する

### 出火原因ワースト1位は「電気関係」

「火災」といえば、たばこやこんろなどのイメージがありますが、普段使っている電気機器などが原因の「電気火災」が多く発生しています。身の回りの電気機器を点検し、日頃から安全を心掛けましょう。

出火原因  
ワースト  
5

- | 位  | 原因                  |
|----|---------------------|
| 1位 | 電気関係<br>(電気機器・配線など) |
| 2位 | たばこ                 |
| 3位 | こんろ                 |
| 4位 | 放火(疑い含む)            |
| 5位 | ストーブ                |

#### 電気火災を防ぐために

- ✓ たこ足配線をしない
  - ✓ 電気コードを束ねない
  - ✓ 傷んだコードを使わない
  - ✓ 電気コードの上に物を置かない
  - ✓ リチウムイオン電池は、落下などの強い衝撃を与えない
- ※リチウムイオン電池は、スマートフォンやモバイルバッテリー、電子たばこなどに使用されています。充電器は専用の物を使うなど、正しく使いましょう。